Syllabus Id	Syl-082461
Subject Id	Sub-082007470
作成年月日	2008年3月19日
授業科目名	ドイツ語 II (German II)
担当教員名	杉山和子
対象クラス	全工学科5年
単位数	2履修単位
必修／選択	選択必修
開講時期	通年
授業区分	語学
授業形態	講義
実施場所	ゼミ1教室

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

アジアからヨーロッパにかけて広く分布する印欧語族のゲルマン語族に属するドイツ語は、英語と似た文字体系、文法構造を持ちながらも古い形の文法規則をより多く残すため、英語を学習する学生にとって習得が比較的容易であると同時に、他の言語理解のための道標となりうる。秋の独検4級(又は3級)合格を視野に入れつつ、ドイツ語の初級文法の習熟を深めていく。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

ドイツ語 I (4年次のドイツ語) の範囲の文法知識・語彙

学習・教育目標

Weight	目標	
	A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
	B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
	C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
◎	D	国際的な受信・発信能力の養成
	E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力

D:コミュニケーション能力を備え、国際社会に発信し、活躍できる能力

学習・教育目標の達成度検査

1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。
2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成と
3.目標達成度試験の実施要領は別に定める。

授業目標

1.独検4級受験に必要な文法事項(初級文法前半・4年次学習部分)・語彙等に習熟し、独検4級の合格ラインに達すること

2.独検3級受験に必要な文法事項(初級文法後半)を学び、基本的な文法問題を解けること。

3.ビデオ教材等を通じて会話、聞き取りに慣れ、ドイツの文化に触れる。

授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観ですが、参観欄に×印がある回は参観でき

回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	オリエンテーション 文法(発音)	プログラムの学習・教育目標、授業概要・目標、スケジュール、評価方法と基準、等の説明。独検4級の説明。 ドイツ語発音・アクセントの規則。独検	
第2回	文法復習(動詞)	規則動詞・不規則動詞、分離動詞・非分離動詞、話法の助動詞、動詞の命令形の復習。独検4級問題2。	
第3回	文法復習(名詞・冠詞・人称代名	名詞・冠詞の格変化、名詞の複数形、人称代名詞の復習。独検4級問題3～4。	
第4回	文法復習(前置詞など)	前置詞の復習。疑問詞。独検4級問題3～4、聞き取り問題。	
第5～7回	Lektion7	テキスト。形容詞の語尾変化、形容詞・副詞の比較級・最上級。「初級ドイツ語文法」1A6形容詞・副詞の比較級、13a指示代名詞・不定代名詞。独検4級問題3～5、聞き取り問題。	
第8回	前期中間試験		×
第9～11回	Lektion8	テキスト。現在完了、動詞の3基本形。「初級ドイツ文法」11動詞の3基本形、12B現在完了。日常会話表現(ホテル・チケット予約、駅・友だちとの会	
第12～14回	Lektion9	テキスト。過去、受動態。「初級ドイツ文法」12A過去形、14受動態、17B数詞。独検4級問題5～6、聞き取り問題。	
第15回	前期期末試験		×

第16～18回	Lektion10	テキスト。再帰代名詞、再帰動詞、zu不定詞、zu不定句。「初級ドイツ文法」13B再帰動詞、16Bzu不定詞・不定詞句。17Aesの用法。独検４級問題5～6、聞き取り問題。	
第19～21回	独検4級問題	独検4級問題7～9、聞き取り問題、会話問題、長文問題。	
第22～24回	Lektion11	テキスト。関係代名詞。「初級ドイツ文法」15関係代名詞	
第25～27回	Lektion12	テキスト。接続法。「初級ドイツ文法」16接続法	
第28～29回	総合問題	長文問題、文法問題、聞き取り。独検３級問題。ビデオ「Alles Gute」	
第30回	後期末試験		×

課題

出典：授業終了時に小テスト用の単語リスト（１０～２０）を配布する場合がある。次回までに暗記してくること
提出期限：出題した次の週に小テスト（単語テスト、文法確認）を実施（随時実施）
提出場所：授業開始直後の教室
オフィスアワー：月・水・木曜日（時間は要連絡）　非常勤講師室

評価方法と基準

評価方法：

(1)ドイツ語の文法、語彙を習得したかどうかを定期試験で確認する。
(2)ドイツ語の単語の知識。文法事項の確認を授業内の小テストで確認する。
(3)成績不振者については、授業態度（会話、聞き取りへの取り組み）、特別課題レポートを加味することもある。

評価基準：

前期中間試験30%、前期期末試験30%、後期期末試験30%、課題（授業中小テスト）：10%、学生自身による学習・教育目標達成度調査結果：最大10%、授業態度（会話、聞き取りへの取り組み）：最大10%、特別課題レポート：最大

教科書等	ハロー・ミュンヒェン（関口一郎、白水社）　練習中心初級ドイツ語文法（朝倉巧他、白水社）　プリ
先修科目	ドイツ語Ⅰ、ドイツ語演習Ⅰ、ドイツ語演習Ⅱ
関連サイトのURL	東京ドイツ文化センター　http://www.goethe.de/tokyo
授業アンケートへの対応	黒板へ書く内容、書き方を整理する。
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。